



## 2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月14日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東  
 コード番号 6047 URL https://gunosy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者 (氏名) 竹谷 祐哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 間庭 裕喜 (TEL) (03)6455-4560  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	7,585	0.6	156	△89.7	131	△91.3	127	△91.6
2019年5月期第2四半期	7,541	47.3	1,524	64.7	1,520	64.4	1,517	154.4

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 111百万円 (△92.6%) 2019年5月期第2四半期 1,507百万円 (150.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	5.42	5.30
2019年5月期第2四半期	64.90	62.90

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	13,578	10,632	77.6
2019年5月期	13,982	10,985	77.7

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 10,534百万円 2019年5月期 10,861百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

### 3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,054	13.6	1,000	△56.6	960	△58.0	565	△71.9	24.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社LayerXの株式の一部を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社Grillを設立し子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	23,842,974株	2019年5月期	23,799,774株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	441,567株	2019年5月期	157,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	23,613,064株	2019年5月期2Q	23,377,748株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2019年5月期：157,600株、2020年5月期2Q：148,767株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年5月期第2四半期の個別業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	6,946	2.9	172	△86.5	164	△87.7	6.97
2019年5月期第2四半期	6,750	38.0	1,272	36.9	1,338	112.1	57.26

2. 2020年5月期の個別業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,314	8.9	632	△65.6	436	△74.8	18.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2018年に64.7%と前年比3.8ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き急速に普及しており（総務省調べ）、また、2018年の広告費は6兆5,300億円と7年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比116.5%の1兆7,589億円と、広告費全体の成長を牽引する成長となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間に引き続き、当社アプリ共通でのクーポンの拡充や恋愛リアリティーショー「3LDK」の配信開始、「AbemaTV」「TBS NEWS」との連携開始など、動画領域における新規コンテンツの展開を含め、新たなコンテンツや施策の展開を行ってまいりました。また、各サービスのユーザビリティを高めるべく、引き続き日々ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善を行っております。さらに、広告主の新たなニーズに応えるべく、機械学習を活用した入札機能「UOP (User Optimized Pricing)」をリリースするなど、広告配信機能の新たな開発や展開にも注力してまいりました。また、リサーチ・動画マーケティング領域での新たな収益獲得を強化するため、株式会社Grillを設立いたしました。

収益面に関しては、上記の施策等によるアクティブユーザー数の順調な積み上がりにより、当第2四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を4,084百万円計上いたしました。また、アドネットワークに係る売上高は順調に推移し、当第2四半期連結累計期間で2,838百万円を計上いたしました。その他、連結子会社でありました株式会社LayerXの株式の一部を譲渡したことにより、関係会社株式売却益90百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、引き続きユーザーの獲得のためテレビCM等のプロモーション施策を積極的に展開し広告宣伝費1,740百万円を計上したほか、アクティブユーザー数が増加した影響により、サーバー費用が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高7,585百万円（前年同四半期比0.6%増）、経常利益131百万円（前年同四半期比91.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益127百万円（前年同四半期比91.6%減）となりました。

なお、「グノシー」及び「ニュースパス」「LUCRA (ルクラ)」合計の国内累計DL数は当第2四半期連結会計期間末において5,303万DLとなり、前連結会計年度末比で705万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて403百万円減少し、13,578百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比1,971百万円の減少）、売掛金の増加（前連結会計年度末比400百万円の増加）、流動資産のその他の増加（前連結会計年度末比411百万円の増加）、のれんの減少（前連結会計年度末比69百万円の減少）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比523百万円の増加）、投資その他の資産のその他の増加（前連結会計年度末比83百万円の増加）であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて50百万円減少し、2,945百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加（前連結会計年度末比119百万円の増加）、未払金の増加（前連結会計年度末比148百万円の増加）、前受金の減少（前連結会計年度末比71百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比157百万円の減少）、流動負債のその他の減少（前連結会計年度末比88百万円の減少）であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて352百万円減少し、10,632百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比119百万円の増加）、自己株式の取得による自己株式の増加（前連結会計年度末比490百万円の増加）であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、842百万円（前年同四半期は1,061百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益223百万円の計上、売上債権の増加417百万円、前払費用の増加313百万円、法人税等の支払額255百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、651百万円（前年同四半期は131百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出527百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、476百万円（前年同四半期は129百万円の収入）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出502百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月15日に公表いたしました2020年5月期通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第2四半期連結累計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、1DL当たりの獲得費用、新規DL数について、それぞれ順調に推移いたしました。

売上高につきましては、Gunosy Adsに係る売上高、アドネットワークに係る売上高について、それぞれ順調に推移いたしました。

費用につきましては、ユーザーの獲得効率が好調であることを受けて、広告宣伝費を引き続き積極的に投下し、1,740百万円を計上いたしました。その他の費用につきましては、アドネットワークに係る売上高の順調な推移を受け、アドネットワークに係る原価が増加いたしました。また、新規の開発や、新規事業の創出に係る投資を行った結果、人件費及びサーバー費用が増加いたしました。

今後につきましては、引き続き既存サービスのユーザー規模拡大を目指すとともに、アクティブユーザー数の増加のための新たなコンテンツの展開及びアルゴリズムの精度向上に努めてまいります。また、収益面に関しましては、アクティブユーザー数の増加に応じた広告主の拡充を実現するべく、マーケティングオートメーション、自動入札機能の高度化及び広告主のニーズをとらえた商品開発などを進めてまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,157	9,186
売掛金	995	1,395
その他	425	836
流動資産合計	12,577	11,418
固定資産		
有形固定資産	75	298
無形固定資産		
のれん	284	214
その他	19	37
無形固定資産合計	303	252
投資その他の資産		
投資有価証券	628	1,152
繰延税金資産	139	115
その他	256	340
投資その他の資産合計	1,024	1,608
固定資産合計	1,404	2,160
資産合計	13,982	13,578
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,167	1,286
未払金	679	828
未払法人税等	297	140
前受金	624	552
株式給付引当金	17	10
その他	207	118
流動負債合計	2,993	2,936
固定負債		
株式給付引当金	3	9
固定負債合計	3	9
負債合計	2,996	2,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,046	4,068
資本剰余金	4,046	4,068
利益剰余金	2,940	3,059
自己株式	△169	△660
株主資本合計	10,862	10,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	△1	△1
新株予約権	67	79
非支配株主持分	56	18
純資産合計	10,985	10,632
負債純資産合計	13,982	13,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	7,541	7,585
売上原価	3,926	4,337
売上総利益	3,615	3,247
販売費及び一般管理費	2,091	3,090
営業利益	1,524	156
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	0	—
助成金収入	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	14
固定資産売却損	4	—
株式交付費	0	0
本社移転費用	—	7
その他	0	3
営業外費用合計	5	25
経常利益	1,520	131
特別利益		
投資有価証券売却益	391	—
関係会社株式売却益	—	90
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	391	91
税金等調整前四半期純利益	1,912	223
法人税、住民税及び事業税	417	93
法人税等調整額	△10	18
法人税等合計	407	112
四半期純利益	1,505	111
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,517	127

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	1,505	111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	0
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	2	0
四半期包括利益	1,507	111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,519	128
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	△16



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,912	223
減価償却費	11	44
のれん償却額	69	69
受取利息	△0	△0
支払利息	0	0
関係会社株式売却益	—	△90
投資有価証券売却損益 (△は益)	△391	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△139	△417
仕入債務の増減額 (△は減少)	332	119
未払金の増減額 (△は減少)	△2	△45
前払費用の増減額 (△は増加)	△280	△313
前受金の増減額 (△は減少)	133	△71
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	3	8
その他	△50	△114
小計	1,598	△587
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△538	△255
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,061	△842
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9	△50
投資有価証券の取得による支出	△112	△527
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	48
敷金及び保証金の差入による支出	—	△85
その他	△9	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131	△651
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	600	500
短期借入金の返済による支出	△600	△500
自己株式の取得による支出	—	△502
新株予約権の行使による株式の発行による収入	70	8
非支配株主からの払込みによる収入	58	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	129	△476
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,058	△1,971
現金及び現金同等物の期首残高	8,767	11,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,826	9,186

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式292,800株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が499百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が660百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社LayerXの株式の一部を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。なお、連結の範囲から除外するまでの期間損益は四半期連結財務諸表に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間に株式会社Grillを新たに設立し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。なお、当第2四半期連結会計期間においては、設立時の貸借対照表のみを連結しており、設立日後、四半期連結決算日までに生じた重要な取引について、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。